

富士商工会議所での南海トラフ地震に関する講演について

静岡県立大学グローバル地域センター地震予知部門 楠城一嘉

平成 29 年 7 月 5 日、静岡県富士市の富士商工会議所で開催された平成 29 年度第 1 回大規模災害対応連絡会にて、「南海トラフ巨大地震の予測について」という講演を行いました(図 1)。富士商工会議所から南海トラフ地震の予知のメカニズムなどについての講演依頼があり、実現したものです。当日は、富士市内大手製造事業所と行政、ライフライン関係企業、金融機関などから 28 名の参加がありました。45 分程度の講演後、その内容をもとに、様々な視点から活発な意見交換がありました。たとえば、大地震直後に身を守ることを最優先に避難することや、災害時の状況を自分自身の問題としてイメージするトレーニングが必要なこと。また、震度 5 以上の地震発生時にはガスメータが自動的にガスを遮断することや、駿河湾の地形と東北地方のリアス式海岸の地形の違いにかかわらず即座に津波から避難することなど。このような意見交換からもわかるように、講演内容についての関心の高さがうかがえました。

これからも、グローバル地域センター地震予知部門は、地震防災に関する講演などを随時行う予定です。



図 1. 当日の講演風景